

【問題】

患者：84歳，男性。

主訴：発熱，心窩部痛，下痢，嘔吐。

既往歴：S32年 脱肛にて手術，S48年 胃癌にて胃・脾部分切除（輸血あり）。

家族歴：特記事項なし。

現病歴：平成12年より，C型慢性肝炎，糖尿病にて加療されていたがここ数年通院歴なし。1週間前より心窩部痛が出現したが，経過観察していた。2日前より発熱出現し，本日心窩部痛の増強と嘔吐，下痢，倦怠感も出現したため，当科救急外

来受診した。

身体所見：心窩部がやや膨隆し，圧痛あり。

画像所見：救急外来受診時の血液生化学検査成績（Table 1）および腹部超音波検査（Figure 1），腹部CTの造影早期相（Figure 2）と後期相（Figure 3）を示す。

1. 診断および鑑別診断は何か？
2. 治療法は？

解答は日本消化器病学会雑誌105巻8号をご覧ください

Table 1. 受診時緊急血液生化学検査結果

[血算]		[生化学]	
WBC	2700 / μ L	TP	7 g/dL
RBC	350×10^4 / μ L	Alb	3.4 g/dL
Hb	9.3 g/dL	AST	57 IU/L
PLT	12.1×10^4 / μ L	ALT	39 IU/L
[凝固系]		T BIL	0.8 mg/dL
PT	68 %	AMY	59 IU/L
[血清学的検査]		BUN	23 mg/dL
CRP	6.6 mg/dL	CRE	0.86 mg/dL
		GLU	213 mg/dL

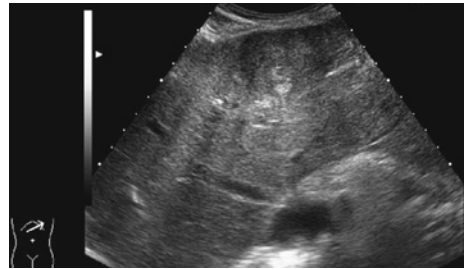


Figure 1. 腹部超音波検査



Figure 2. 造影CT早期相

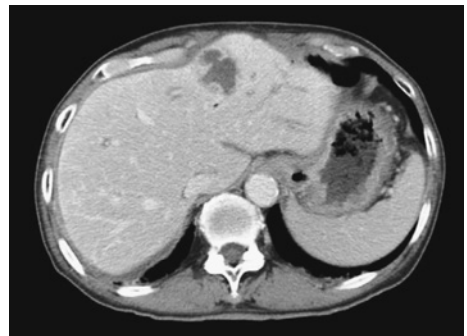


Figure 3. 造影CT後期相